

現場で働く人応援

揚重部門の動画公開

ハンズ

建築資材の搬入や内装補修を手掛けるハンズ（東京都渋谷区、長島宏社長）は、プロジェクト「ガチイズム」

を始動させた。初弾として、同社で働く揚重部門のベテランや若手の動画を公開。自社だけでなく、業界全体のアピールにつなげ、入職促進に役立てていく。

建設業界では、東京五輪が開催される2020年に向け需要が増す中、高齢化や若年層の業界離れで人手不足が深刻化

動画では仕事の魅力が熱く語られている

している。同社は、建設業で働く人の魅力を発信し、3K（きつい・汚い・危険）という固定されたイメージからの脱却を図るため、今回のプロジェクトをスタートさせた。

第1弾は、建築現場の揚重業にフォーカスした。現場で必要となるさまざまな内装資材・材料を指定の場所へ傷つけることなく正確に搬入する「荷揚げ」の仕事。動画では、同社で働く勤続1年目の若手から、13年、17年目の中堅・ベテランが、ただ物を運ぶだけでなくとどまらない仕事の醍醐味（だいごみ）をそれぞれの視点で熱く語っている。

同社の揚重部門のスタッフには、「芸人になりたい」「ミュージシャンになりたい」など夢を追い掛ける傍ら、生活費を稼ぐために働いている人が多いという。

動画の公開に合わせ、期間限定の集中採用「夢を語れば即採用」キャンペーンを実施する。期間は30日まで。スタッフはここ数年、200人前後で推移しており、今回のキャンペーンで前年同月の2～5割増の採用を目指す。

詳しくは同社のホームページ（<http://www.kkhand.co.jp/business/construction.html>）を参照。

フィリピンで

工業団地開発

長大、政府機関への特区登録審査が完了

長大は11日、フィリピンのミンダナオ島にあるブトゥアン市で計画している